

市指定重要無形民俗文化財

やぎはらすわじんじゃのだいだいかぐら

# 八木原諏訪神社の太々神楽



八木原諏訪神社の太々神楽は、1922(大正11)年に、桃井村(榛東村)の新井八幡宮の舞師の指導を受けて、氏子による太々神楽講が発足しました。翌年には、神楽面や装束、楽器などを整えたと伝えられています。

現在は、4月の第3日曜日の春の例大祭で奉納されています。神楽は、須佐之男命すさのおのみことの八岐大蛇退治など、男舞21座、女舞15座の計36座で構成されています。舞を受け継いでいる舞子会30人により、全ての演目を1日かけて奉納しています。4月1日から練習を始め、例大祭前日に五色の千代紙や半紙を細工したりと、小道具の準備を行います。

## 生きづく伝統 — FILE.13 — 誇る我らの文化財

平成7年に舞子会に入りました。当時は例大祭前の練習が3日だけで、覚えるのに苦労しました。来年は100周年の記念の例大祭になるので、舞をしっかりと奉納したいです。また、これを契機に、若い後継者を育てたいと考えています。



八木原諏訪神社  
太々神楽舞子会  
会長  
飯塚 富士男さん  
(八木原)



### 表紙の写真

3月31日、伊香保地内で東京2020オリンピック聖火リレーが行われました。出発式会場の石段下広場は、今回、会場となることを記念して「だんだん広場」と名付けられました。暖かな日差しの下、トーチを掲げた7人のランナーは、約1.3kmの道のりをゆっくり走り、沿道から大きな応援の拍手が送られました。

### 編集後記

聖火リレーの特集は、聖火が市内を通過したことが記録に残るよう、広報担当の総力を挙げて取材しました。そのこともあって、慌ただしく始まった新年度も、もう半月が経過します。見頃を迎えた桜は、今年は密を避けた窓越しの花見となり、少し寂しく感じました。聖火が無事に目的地にたどり着くことと、また気兼ねなく、仲間と花見ができることを願っています。(た)



### 我が家の Vol.25 ペット自慢

応募はこちらから



りく  
(1才6カ月)

我が家のアイドル♥お風呂が大好きなりくちゃんです  
鍋 望さん(石原)



こげまる  
(6カ月)

負けず嫌いで寂しがり屋のうちの可愛いこげまるくんです  
本田 花凜さん(中郷)

防災無線の自動音声電話番号

☎0800-800-7373

ほっとマップメールで  
市の情報を配信



「マチイロ」で  
広報しづかわを配信

